

令和6年度 第2回 千葉県救急・災害医療審議会 審議概要

日時：令和6年12月18日（水） 午後4時00分から午後4時30分

場所：WEB会議（zoom） 事務局：千葉県庁中庁舎10階大会議室

出席委員：中田委員、金江委員、増淵委員、齋藤委員、宮田委員、岡本委員、高橋委員、
埴委員、白井委員（12名中9名出席）

審議事項 小児救命救急センターの指定について

【事務局説明】

資料1により、松戸市立総合医療センターの小児救命救急センターの指定に係る状況について、説明した。

【結 論】

松戸市立総合医療センターの小児救命救急センターへの指定について、承認された。

報告事項 ちば救急医療ネットと救急医療等業務支援システム（救急搬送一斉照会システム） の統合について

【事務局説明】

資料2により、次期システムについて説明した。

【委員からの質問・意見（要旨）】

（1）順天堂大学医学部附属浦安病院 岡本委員（質問及び意見）

現在のシステムは各地域それぞれの運用に任されている状況だが、次期システムは統一的な運用を考えているのか。現在、当地域ではシステムのメリットを感じていないがシステム改善によって有用なら是非利用させていただく。

→県としては全県的に活用いただくことを想定している。ただ、MC単位、医療機関ごとに事情が異なるため、県からの丁寧な説明を心掛けながら、すべての医療機関に活用いただけるようお願いしたいと思っている。

（2）総合病院国保旭中央病院 高橋委員（質問及び意見）

来年度に新しい業者を選定するとは、まったく別のシステムが入る可能性があるとの理解でよろしいか。当地域では、当院に搬送される患者はすべてスマート119で受け入れを行っている。2次医療圏の救急搬送1万件の内、約6割の6千件が当院に搬送される現状、現システムで非常にうまくいっている。電子カルテを直接QRコードを読み込んで取り込むので、救急外来事務の効率化に非常に役に立っていて、ホットラインがならないというストレスも減っており、必要事項だけ電話でコミュニケーションをとる。写真、動画、心電図、保険証を送れる機能は非常に有用。各消防のとったデータで、使い慣れた隊員の現場滞在時間が非常に短縮された結果が出ている。おそらく使い慣れていけば、非常に有効

に使えると考えている。当２次医療圏でシステムを利用しているのは当院だけなので、他の医療機関には、状況が許せば導入させたい思惑もある。当地域としては非常に有効に使っている。

→基本的には救急医療ネットをベースにしながら、有効だと判断されている情報共有機能を追加する、また、今使われてない機能については取り除く方向性で考えている。

業者についてはプロポーザル等で選定することになるため、今とは変わる可能性がある。

(3) 千葉県総合救急災害医療センター 宮田委員（意見）

現システムに関して、評価が正確に出てないのではないかな。どの部分で有効だったのか、うまくいかなかったか等。例えば、応需情報に関しても、当院は１日２回ほど更新しているが、やはりリアルタイムではないため、全く反映できてないところもあり、機能的にやはりうまくいってるところいってないところがある。

今回のこの内容（評価）に関しては、このあたりが感想レベルの話になっていて、正確な評価がされてないと。

その中で１年後にもう新しいシステムを作るというのは、少し時間的な無理があると感じる。

その部分（評価）をもう少し明確にして、スマート 119 も確かに動き始まっているし、救急で非常に有用なシステムができればと期待する。